



電友会 会員の皆さんへ

発行者 電友会本部
東京都新宿区西新宿3-19-2
NTT東日本本社ビル内
TEL 03-5359-6969
<http://www.denyuhon.jimusho.jp>
発行責任者
事務局長 青野 信雄

令和元年度 電友会本部評議員会

鈴木会長あいさつ

全国の元気な会員



昨年の本稿で健康寿命を延ばすには食事よりも運動よりも「人とのつながり」が日常的に持つことが一番だそうだし、ある年齢以上の方には電友会の最大の魅力はこれにあると数多くお聞きしました。本誌では全国の様々な取り組みを紹介いたします。仲間と楽しむ、仲間と共感する、仲間を思いやることで強く結ばれていることを実感していただいております。

活動の三つの柱

第一の柱。行事への参加、レク・サークル活動は更に明るく楽しい仲間との時間を持つと、ドンドン新しい企画も考えていただいております。中でも本格的な地方本部間の交流会が行われたのは驚きました。沖縄地方本部の皆さんが北陸地方本部を訪れ、これまでに磨きをかけてきた郷土芸能を披露し合い大いに盛り上がったそうです。はじめての土地の名所旧跡もご案内したそうです。ほかに仲間の輪を広げ交流の深みを増していくイベントが展開されるようになりました。

第二の柱。ボランティア活動も進化しております。組織の内外で個人でも集団でも行っていた電友会会員の誇らしい存在感を示していただいております。最近はおリンピックメダルのための都市鉱山で多くの賛同をいただきました。各地のICT講座やスマホ教室への講師派遣、防災演習の支援など次々と要請を受けております。

第三の柱。就労支援はこの一年で二倍になり二〇〇名の仲間が働いております。

人生百年時代、社会保障制度のこの先の見通し、定年制度がどうなるか不確定要素のある中で、延びる人生という貴重な資産を享受活用する醍醐味を就労という形でも味わっていただきたい。今は首都圏中心に事業をしています。全国展開を視野に努力していきたいと思っています。

勧誘活動の強化

このような活動に加えて新たな活動の可能性をこれからOB・OGとなる方々に知ってもらうことが必要です。新しい時代に生きる会員に伝えるために電友会は常に進化して行かねばなりません。先日、「アクティブシニアICT学修会」でドコモ社のユニークな活動体である「アグリガール」の紹介がありました。農業経営にIoTの導入を進める女性チームで全国展開し立派な成果を上げています。このメンバーからOB・OGと協力したいとの提案がありました。電友会の活動領域拡大、NTT現役の方々との連携、高度の社会貢献など、どこから見ても大歓迎だと思います。新しい会員を引き付ける知恵は現役との交流からこの思いを強くしています。

組織強化

急速に進む会員減少への対策も課題です。NTTグループ全体の従業員数が底流にはありますが、組織再編によって設立された多くのグループ会社の退職者を受け入れる電友会側が十分対応していなかったことも影響しております。これらの会社はそれぞれの年月を経てアイデンティティを築いておりますので、それを尊重し電友会に迎える準備をしていきたいと考えております。

OB・OGの皆さん、これから入会を考える皆さん、既に会員となっている皆さん、電友会の新しい時代に向けての取り組みを理解していただくことをお願いいたします。

《懇親会》



(ご来賓挨拶)
宮津NTT特別顧問



(鈴木会長挨拶)



(中締め 宇治副会長)



《評議員会・講演会》

1. 日時 令和元年7月3日(水)
2. 場所 KKRホテル東京



(鈴木会長挨拶)



(ご来賓祝辞)
日本電信電話株式会社
取締役総務部門長
坂本 英一様



(評議員会模様↑)



(議長 中村 克央様)



ご講演
「NTTグループの最近の取り組み」
日本電信電話株式会社
代表取締役副社長 井伊 基之様



(講演会模様↓)

